

# UAD RTAS, Pro Tools, Mellowmuse ATA についての情報

## 最新の RTAS 情報

UAD RTAS はバージョン 5.2.0 になりより充実した機能を実装しました。  
本書ではすべての UAD RTAS ProTools ユーザーに対して重要な最新情報をお届けいたします。

UAD RTAS バージョンアップ情報:

- Mellowmuse ATA オートマッチック・ディレイ補正プラグインを追加
- UAD-2 は RTAS を完全にサポート
- UAD-2 用の新しい Pro Tools コンフィグレーション・ウィンドウ

それぞれの新機能は以下に詳細を紹介いたします。

## UAD-1 と UAD-2 は RTAS をフルサポート

UAD パワード・プラグインは ProTools と ProTool Le の RTAS にサポートしていた UAD-1 に加え、UAD-2 も完全に対応をしました。RTAS サポートにおける新機能は、Mellowmuse ATA プラグインと UAD-2 のための新しい ProTools コンフィグレーション・ウィンドウを含みます。

## UAD パワード・プラグインのレイテンシーと遅延補正について ~ 概要

UAD パワード・プラグインを使用しているとき、パワード・プラグインによって処理されるべきオーディオデータは、ホストアプケーションから UAD カードに送信されます。オーディオは、その後 UAD カードによって処理されホストアプリケーションに返送されます。このオーディオデータの送受信に関するシャッフルを「バッファリング」と呼び、その処理のためにオーディオの遅延を起こします。このレイテンシー(遅れ)が解決されないと UAD によって処理された音とされてない音の間でずれが生じてしまいます。(多くのホストベースのプラグインでこの遅れが生じます。)

ProTools、ProTools LE、ProTools M-Powered は自動遅延補正を行いません。

UAD v5.2.0 は自動的にこれらホストアプリケーションとのリレーションで起こりうるロスを補う Mellowmuse ATA プラグインを備えています。レイテンシーと遅延補正に関するその他の詳細な情報については、UAD ユーザーマニュアルの第 9 章を参照してください。

## Mellowmuse ATA - Pro Tools LE & Pro Tools M-Powered の自動遅延補正について

Mellowmuse ATA(Auto Time Adjuster)プラグインは、UAD インストーラーにバンドルされています。

ATA は UAD (UAD でないものも含め)プラグインのために ProTools LE、ProTools M-Powered において数クリックするだけで自動プラグイン遅延補正を行うことができます。UAD をインストールする際に RTAS オプションを指定すると ATA プラグインは「Digidesign Plug-Ins」フォルダーに入れられます。

詳細な製品情報: <http://www.mellowmuse.com/ATA.html>

## Mellowmuse ATA ライセンスについて – 無償 (UAD-2) と 割引販売 (UAD-1)

Mellowmuse ATA は UAD-2 では中止された UAD DelayComp と UAD TrackAdv に代わって UAD-2 ユーザーに対しては無償でライセンスされます。

**注意:** 無償のインストールを実行するには、まず UAD-2 カードをインストールしなければなりません。  
UAD-1 を使用している場合には ATA デモモードで操作します。

UAD-1 をお持ちのお客様:

下記にて Mellowmuse ATA の UAD-1 ユーザー向けの割引販売を行っております。

[Click here to purchase discounted MellowMuse/ATA license](#)

## Mellowmuse ATA システム必要環境

- Pro Tools: LE or M-Powered、バージョン 7.3 以降
- Windows: Windows XP、Vista : Pentium 4 1GHz 以上の CPU
- Macintosh: OS X v10.4 以降 : G4/G5 または Intel 1GHz 以上の CPU

## Mellowmuse ATA ユーザーマニュアル

プラグインの操作方法に関する詳細な情報は UAD RTAS をハードディスクにインストールしている間に Mellowmuse ATA ユーザーマニュアルを参照してください。

• Windows: スタートメニュー > すべてのプログラム > UAD Powered Plug-Ins > ATA\_Manual.pdf

• Macintosh: スタートアップ・ディスク > アプリケーション > Powered Plug-Ins Tools > ATA\_Manual.pdf

## Mellowmuse ATA と UAD プラグインを使用する: テクニカルノート

- UAD プラグインが ATA の効果を最大限に得るためには 256 以上の入出力バッファサイズを確保してください。
- 既存のファイルを開き、録音せずに再生するだけの場合には 256 以下の入出力バッファでも使用可能です。
- (UAD-2 では) オーディオ I/O のバッファを変更する前に UAD ProTools コンフィグレーションの値を変更することを忘れないでください。(次のセクションに詳細を記述しています。)

## UAD-2 の新しい ProTools のコンフィグレーション・ウィンドウ

UAD メーターとコントロールパネル・アプリケーションは ProTools コンフィグレーションと呼ばれる新しいウィンドウ(バージョン 5.2.0)を備えています。それはメニュー・ボタンからアクセスできる UAD メーターとコントロールパネル・アプリケーションです。(メイン DSP メーター・ウィンドウの上)ウィンドウには一つのパラメータしかありません。:ハードウェア・バッファサイズ(デフォルトは 2048 です。)使用方法については以下に説明があります。

- ・ 注意:ウィンドウでの設定は UAD-2 カードだけに適用されます。UAD-1 カードには影響しません。
- ・ UAD-2 バッファサイズ・パラメーター  
簡単に使うには、ProTools のオーディオの(ProTools で使用する)入出力インターフェイスが設定できる中で最も大きいハードウェアバッファサイズを(UAD ProTools コンフィグレーションウィンドウ下のメニューで)設定してください。
- ・ レイテンシーを最小にする  
絶対的に実現可能な UAD-2 の最も低いレイテンシーを実現するには ProTools のオーディオ・インターフェイス(ProTools アプリケーション使用時)に設定されるのと同じバッファサイズをハードウェアバッファサイズ(UAD ProTools コンフィグレーションウィンドウ下のメニューで)で設定してください。
- ・ 最初に UAD ハードウェア・バッファサイズを変更する  
UAD ハードウェア・バッファサイズ・パラメーターを変更しても ProTools アプリケーションの範囲内でオーディオ・インターフェイスのバッファサイズで変更して BEFORE を作らなければなりません。そうしなければ、レイテンシーが悪化するか、オーディオがドロップアウトする可能性があります。ProTools を立ち上げた後に最初に I/O バッファサイズを変更した場合、一度ソフトウェアを終了して再度立ち上げなおさなければなりません。

## Pro Tools 使用時の UAD RTAS プラグインについて - その他の情報

- ・ UAD VST to RTAS アダプターは ProTools LE、M-Powered と TDM ユーザーが、ProTools 内で UAD DSP カードとパワー・プラグインを使用することを可能にするソフトウェアです。ユニバーサルオーディオは UAD でのみ動作する RTAS アダプターに加え、人気のある VST バージョンを加えるためにイギリスのアダプター・スペシャリスト「Fxpansion」と協力しました。
- ・ Fxpansion からの UAD VST to RTAS アダプター・バージョン 2 は ProTools 7.x 以降のインストーラーに対応し、UAD インストーラーに備えられています。インストール中に RTAS オプションを指定すると自動的に UAD RTAS プラグインを設定します。ProTools 6.x 以前のバージョンを使用している場合には UAD VST to RTAS アダプターの前のバージョン(v1.07ua)がまだ Windows、Macintosh 共に使用可能です。詳しくはカスタマー・サポートにお問い合わせください。
- ・ ユニバーサル・オーディオはフルバージョンのアダプターのテクニカルサポートには対応していません。(それは UAD パワー・プラグインだけでなく、すべての VST プラグインに対応するため)フルバージョンのアダプターに関する情報については Fxpansion にお問い合わせください。
- ・ Fxpansion.com はサポートと Tips、その他のインフォメーションを他の VST to RTAS アダプター・ユーザーと共有するためにサポート用のメールアドレス、よくある質問リスト(FAQ)、オンラインサポート・フォーラムや情報の交換をする場を提供しています。

## 重要な項目と互換性情報

- ProTools の技術資料やシステム環境等、最新の情報は [www.degidesign.com](http://www.degidesign.com) にてご参照ください。
- 対応している UAD RTAS プラグインは UAD パワード・プラグインの VST バージョンがインストールされていることを要求します。VST プラグインは RTAS オプションの一部として UADv4.5.0 以降のインストーラーに同梱されています。アダプター v1.07ua を使用している ProTools6 以前のバージョンを使用しているユーザーはアダプター・ソフトウェアをインストールする前に、まず最初に UAD VST プラグインをダウンロードしてインストールをしなければなりません。
- UAD-1/UAD-1e のみ: すべての ProTools ユーザーは MIN\_GNT を (もし他のセッティングだった場合) 64 にセットしなければなりません。このセッティングは、UAD パフォーマンス・メーターのコンフィグレーション・ウィンドウで設定できます。
- アダプター v1.07ua のみ: 最も良い性能を引き出すためにアダプターと ProTools のバッファを同じサイズに設定してください。他に理由がなければ、バッファサイズは 1024 を推奨します。

## RTAS に関する問題

- マルチモニタイプ・モードはサポートしていません。
- Windows と Mac Os との間のセッション互換はサポートされていません。  
(これは FXpansion の仕様の問題です。)
- Mac のみ: 再生中にプラグインを加えると再生のエラーを起こし止まる場合があります。  
その場合には単純に再生し直してください。
- Digidesign の Mbox を使用してレコーディングした場合にクリック音やノイズが入る事が知られていますが、本件について UAD は関連していません。詳しい情報については Digidesign にお問い合わせ下さい。
- Mac のみ: UAD のバージョン 3.9.0 以前のバージョンからバージョンアップを行う場合、CS-1 ファミリー (CS-1、EX-1、DM-1、DM1L) の設定は PowerPC マッキントッシュのシステムにロードされません。  
UAD プラグインをバージョン 2.x で作成して UAD to RTAS アダプター (フルバージョンの RTAS アダプターも含) がアクティブな状態のときにだけ起こります。  
この問題については FXpansion と共に解決を急いでいます。